

コンサート歌詞

1 - 1 Ave Maria di grazia
piena(op.372)

Ave Maria di grazia piena
Il Signore e teo
Tu sei benedetta fra tutte le donne
E benedetto e il frutto del tuo seno
Gesù.

Santa Maria Madre di Dio
Prega per noi peccatori
Adesso e nell'ora della nostra morte.
Così sia.

< 訳詞 >

恵みあふれる聖マリア
主はあなたと共におられます
主はあなたを選び祝福し
あなたの子イエスも祝福されました。
神の母聖マリア、罪深い私たちのために
今も、死を迎える時も祈ってください。
アーメン

1 - 2 ホラ「細川ガラシャ夫人」(op.22)

第3幕より

Ave Maria

清原 奥方様の新しいお名前、ガラシャ
マリア 主の永遠の愛、主の赦されし
口づけ、ガラシャ

Ave Maria, gratia plena, Dominus tecum.
Benedicta tu in mulieribus
et benedictus fructus ventris tui
Iesus.

Sancta Maria, Mater Dei,
ora pro nobis peccatoribus,
nunc et in hora mortis nostrae. Amen

< 訳詞 >

めでたし聖寵満ちみてるマリア
主御身と共にまします
御身は女のうちに祝せられ
ご胎内の御子イエスも祝せられたもう
天主の御母聖マリア
罪人なるわれらのために
今も臨終の時も祈りたまえ アーメン

ガラシャ夫人の決断

ガラシャ 今こそ命捨つべき時
夫人 光輝くて 奴のみ国の尊きみ光
我を召させたもう 紫の煙
深紅のほむらに
五彩は空に帰するとも
わが魂のふるさとへ
われは召されて帰る
救いたまえや
わが主よ
愛のみ手を差しのべたまえ
最後のめぐみをたれたまえ
花咲ききそうその中に
天に帰る喜びはなりひびく
清原 五彩の雲に天使のほほえみ
マリア たえなる楽の音は賛歌を奏で
高らかに歌声は四方にひびく
ガラシャ お召しの声 我を招く
夫人 遥かなる天より
遥かなるこの地上へ
尊きみ声す デウスのみ声
わが父 デウスのみ声

1 - 3 Angelus (op.368)

Angelus Domini nuntiavit Mariae
Ave Maria, Ave Maria, Ave Maria.
Et concepit de Spiritu Sancto.
Ave Maria, Ave Maria, Ave Maria.
Ecce ancilla Domini.
Fiat mihi secundum verbum tuum.
Ave Maria, Ave Maria, Ave Maria.
Et Verbum caro factum est
Et habitavit in nobis.
Ave Maria, Ave Maria, Ave Maria.

< 訳詞 >

お告げの天使

主の天使がマリアに告げられた。
アヴェマリア、アヴェマリア、
アヴェマリア。
マリアは聖霊によって身ごもられた。
アヴェマリア、アヴェマリア、
アヴェマリア。
私は主のあしため、

御言葉のとおりになりますように。
神の御ことばは肉となり、
私たちのうちに住まわれた。

1 - 4 パレタ「慰めの聖母」(op.27)より

序歌

ディンディンダンディン
ディンドンディンドンダン
ディンダンドン ディンディンダンドン
いざ祝え あふれでる
このよき日の喜び 鳴り響く
鐘の音に踊りたつ心は
あぁ！ ディンディンダンディンディン
ドン！ ディンドンダンディン
楽しけく家いえに 鳴り渡る
母の手によそわれ
いとし子も美しい
ディンディンダンディンディン
ディンドンダンディンダンドン！
ディンディンダンディンディン
ディンドンダンディンダンドン！
ディンダンドン
鐘の音 人々にうれしい日を告げれば
我が命 楽しけく旨にわくよき歌
ディンディンダンディンディン
ディンドンダンディンダンドン！
楽しけく胸にわく良き歌

エリクの歌

不思議歌をさえずり歌う小鳥の声だ！
子供がひとりさまよえる旅路の歌！
不思議な歌をさえずる小鳥の声だ
さあその踏み出しも
行き先も知らない私
なさを知らぬ 世の旅路に
我があこがれは一つのみ
飛んで廻る天に天に
星に道を照らされて
朝日に歌う幸福か不幸か
その運命は知らねど
飛んでまわる天に翼のまま
飛んで廻る天に天に

占い師マゴグの歌

誰や知らぬか 占い者なマゴグを

地上のどの国にも誰も知るマゴグ
楽しみもたらし 思いを読み破り
陰謀を暴いて隠れた物を何でもさぐる
たなごころもいれば
遠き未来を告げて宿る思いをさえも
読むものはだれか
まだ信じないか 見よ
秘密をとくならば恐れか喜び
胸にみなぎる
誰や知らぬか 占い者なマゴグを
地上のどの国にも誰も知るマゴグ
エリクのロマンス
なつかしき母
思えば輝かしい夢のごとく
その声はメロディのように
貴匂う花のごとく
温かいその心にいだかれるかのように
思う母よ
お手になでられて燃え上がるわが愛母は
かくわし

花にもまさる母は太陽よりうるわし

子供たちの歌 (アヴェマリア)

アヴェマリア 聞きませ わが祈りを
わがより頼みを やさしき母よ
御身に 喜んでささげまつる
あどけない心のユリの花を
これほどやさしいあなたであれば
御子のイエズスさまを私の腕に
イエズスさまの顔にくちづけてから
あなたのみもとにお返ししましょう
お返ししましょう
これほどやさしいおん母よ
(アヴェマリア我らは御身を愛する)
私の腕にはイエズスさまを
(御身こそわれらのやさしきおん母よ)
御身に喜んでささげまつる
(御身に喜んでささげまつる)
あどけない心のこのユリの花を
アヴェマリア
あどけない心のこのユリの花を
アヴェ、アヴェ、アヴェ、
アヴェ、アヴェ

終幕のコーラス

今はぬぐい去れ涙を 今喜ぶべきだよ
以前の悩みを早忘れて
うれしき母の胸に
さびしい巢にまたたよう
愛の小鳥のさえずりは
胸は希望に燃えあふれる
愛の小鳥は帰って来た
巢のみ母よ 愛のみ母よ
苦しめるもののよきなくさめ
感謝あれよ 御身に
おお聖母マリア おお聖母マリア
我らに平和 主に栄え 主に栄え
主にみ栄え
ディンディンダンディンディンドン
ディンドンダンディンダンドン！
ディンダンドン
我らに平和主に栄え

2 - 1 ゆくつばめ (op.782)

偉大なる太陽のもとに
伸びよ起きよ香り放して
また語れ 我が家を忘れるな
ゆくつばめの
また来たれ 我が家を忘れるな
ゆくつばめ

星の歌 (op.660)

星 星 流れ星 どこへ行った？
流れ 流れ星 どこへ行った？
他の星 みんな 泣き出した
夜露の涙が 光ってる

2 - 2 こばとの歌 (op.656)

山は晴れたぞ 野に出たこばと
帰れこばとよ 戻れよ山へ
はぐれこばとになるから帰れ
野には野ぎつね 畑にはイタチ
イタチが鳴いたぞ 戻れよこばと
きつねが来るから 帰れよこばと

ごらんなさい 蟻の目 (op.710)

ごらんなさい ごらんなさい 蟻の目を
なんときれいじゃありませんか
蟻が麦の穂に登って一粒だけとって

引っぱる引っぱる引っぱるよ
エンヤラヤ エンヤラヤ
荷車を蟻が引っ張って逃げますよ
鉄のような黒い足で一生懸命に引っぱれ
引っぱれ引っぱれよ
ドレミファ どっこいしょ
どっこいしょ
ごくろうさま ピュピュピュトゥラー
ピュピュピュラララ
ピュピュピュラララ
日本万歳 万歳 万歳

2 - 3 富士の山 (op.733)

1. 頭を雲の上に出し
四方の山を見下ろして
雷様を 雷様を 下に聞く
富士は日本一の山
2. 青空高くそびえ立ち
身体に雪の着物着て
霞の裾を 霞の裾を 遠くひく
富士は日本一の山

2 - 4 Cade la neve (op.464)

Silenziosa neve,
scendi dal chiuso cielo
come candido velo
denso di fiocchi e lieve,
silenziosa neve.
Quanto candore intorno!
Un manto sterminato!
Il mondo è diventato
degli angeli il soggiorno.
Quanto candore intorno!

Da spazi inviolati
scende alla terra nera
tutta una primavera
di fiori immacolati,
da spazi inviolati.

< 訳詞 >

雪が降る

静かな雪よ、
あなたは閉じた空から降ってくる
真っ白いヴェールのように

軽い薄片のように、
静かな雪よ。
周りは真っ白！
限りないマントのようだ！
世界の姿が変わり
天使たちの住まいとなった。
周りは真っ白！

未知の空から
黒い土の上に
春のような
真っ白い花が降りてきた
未知の空から。

2 - 5 お°レツ「Raggio di Sole」

(光太くん) (op.36)より

Il Buon Pastore

Cento agnelle avea un pastore
Tutte chiuse nell'ovil.
Tenerezze come padre
Prodigava in ogni di`.
Ma una sera in sul tramonto
Nel contarle una manco`;
Non piu` pace ebbe il pastore
E a cercarla si parti`.
Varco` monti, valli e fiumi
Ricercaando il suo tesoro;
Ma un mattin nel sol nascente
La sua agnella ritrovo`:
Forte al seno egli la strinse
E torno` letizia al cor.

< 訳詞 >

良い羊飼

百匹の羊を持っている羊飼いがいた。
みな檻の中に閉じこまれていた。
毎日彼は、父親のような愛情を
彼らに注いでいた。
しかし、ある日の夕暮れ
数えてみたら、一匹はいなくなっていた。
羊飼いは休むことなく、
探しにでかけた。
山、谷、川を越えて、
自分の宝物を探し回った。
ある日の夜明け

迷った羊を見つけた。
強く胸に抱きしめて、
その心には、喜びが戻った。

Canzone degli sportsmen

Veniam dai grattacieli di New York
Viaggiamo tutto a piedi il Canada`
e nel Peru`, che va giu` giu`
e nel Chili`, che va li`li`.

Dopo aver fatto
in quattro salti il Panama`
Oila`, viaggiam di qua e di la`
Oili`, viaggiam la notte e il di`,
Viaggiam per sport.

E' lo sport'na cosa tutta americana
Tennis, skating, golf,
Football, baseball e box.

E' lo sport 'na cosa invero sovrumana,
Moto, sidecar, sui monti l'alpenstok.
Oh! Yes! - Oh! Yes!

Oh! Yes! urrah! Allo sport!

Nell'Africa mangiammo a Bakangai
Scambiammo quattro pugni agli Zulu`
E dal Gran Kan del Turkestan Ben
Mustafa`

Facemmo un pranzo
di scimmie cotte al Timbuctu`.
Oila`, viaggiam di qua e di la`
Oili`, viaggiam la notte e il di`,
Viaggiam per sport.

< 訳詞 >

スポーツマンの歌

ニューヨークの高層ビルから来ている。
カナダを歩きまわった、
また、下下へと、ペルーまで、
ちょっとそこにある、チリまでも。
パナマまで飛んでみて、
おいら！ あっちこっちも旅し
おいり！ 昼も夜も旅つづけた。
我々にとって旅は、スポーツだ。
スポーツはアメリカの特徴だ、
テニス、スケート、ゴルフも、
フットボール、ベースボール、

ボクシングも。
スポーツは最高だ、
モート、サイドカー、
山のアルペンストック。
オーイエス！ オーイエス！
オーイエス！ ウラー！
これがスポーツだ！

アフリカで、バジャンガイで食べた、
ズル族ともボクシングをやった。

トルケスタンのグランカン・
ベンムスタファと共に昼食して
チンブクトゥ風のサルを味わった。
おいら！ あっちこっちを旅し
おいり！ 昼も夜も旅をつづける。
我々にとって旅は、スポーツだ

Canzone dei cuochi e degli sguatterì

Su, su, su, che il tempo vola ognor
Su, su, su, che il fuoco brilla già
Presto apparecchiamo piatti sopraffin,
Succulento un buon menu` ,

Consomme, bisticche e scaloppin,
pollastrelle e lepri in buon salmi` .
Cose da morir! Cose da svenir!
Cose che ci fanno languir!

Vinelli secchi oppur dolcetti
Charlottes con panna, gateaux choisis
Che l'acquolina fanno venir.

Prosciutti freschi per antipasto
E kaki d'India son per dessert
Un pranzo invero che invidia un re.

Corri, corri qua e di la` per
lucidar

Corri, corri su e di giu` senza
posar.

Corri, corri qui e di li` con i
piatti in man

E' per vero eccezional nostra funzion.
Qui ci chiamano per pulir, per
strofinar.

La` ci chiedono dove stan cucchiali,
bicchier.

Presto, presto qui a lavar ed asciugar,

Non ce` tempo a respirar, ci fanno
dannar.

Fra le scodelle che fanno tlac,tlac,
Fra i pentoloni che fanno fru, fru,
Passiam la vita, la notte e il di` ,
Fra le marmitte che fanno brum brum,
Fra le padelle che fanno cip,cip,
Noi trionfiamo: sguatterì siam.

<訳詞>

コックさんと皿洗いの歌

サ、サ、サ、時間が経つががんばろう
サ、サ、サ、もう火が燃えているんだ
急いで最高の料理を準備しよう
美味しくて、美しいメニューを。

コンソメ、ステーキ、スカロピン、
上等なサルミー風の若鶏、野ウサギを。
美味しくてたまらない！

我慢できない！ 待ちきれないものだ！

ワインはドライも甘いもあり、
パナナのシャルロットもガトーもある。
口の中にとろけるものだ。

オードブルのプロシュットも、
デザートとしてはインドの柿も。
王様でも驚く、大ご馳走。

さあ、磨くため、走れ走れ
さあ、休まずに、走れ走れ
手に皿を持って、走れ走れ

我々の役目は、大変なものだ。
拭くためにここに来い、と
スプーンは、コップは、と呼ばれる。
息もできない、狂ってしまう。

Tlac,tlac する井の間に

fru, fru する鍋の間に

我々は昼も夜も過ごすのだ。

Brun brun する大鍋の間に

cip,cip するフライパンの間に

我々の勝利だ。我々は皿洗いなんだ。

Padre Nostro

O Padre nostro che nei cieli regni,

Il nome tuo santo

Sia benedetto e ognor santificato.

Venga il tuo regno

D'amor, di fede e carita` .

La tua volonta` sia fatta
Lassu` tra i santi
E qui tra noi che t' invociamo,
China la fronte al tuo volere.
O Padre,
A noi tu dona il pane santo di vita
Che ci risani
E rafforzi in noi il corpo affranto
E il debole intelletto.
Perdona al nostro spirito la colpa
Ed allontana il desiderio
Dell'odio e del maligno.
Noi perdoniam l'offesa
Tu perdona nell'ora della prece.
Nell'ora del tormento
Difendici dal male.
E sia cosi` in eterno.

< 訳詞 >

主の祈り

天におられる私たちの父よ
御名が尊ばれ
祝され、聖とされますように。
御国が来ますように
愛と信仰と慈しみの国が。
御ころが行なわれますように
天において聖人たちから、
地にも、御身に祈る私たちが
頭を下げて、御ころに従いますように。
父よ、
命の尊いパンをお与えください。
私たちを癒し、疲れきった体と
弱い判断も、お強めください。
私たちの心の負い目お許しください。
お取り去りください
心の中の憎しみと悪の望みを。
他人の負い目を許しますから、
私たちが祈るとき、お許しください。
誘惑に遭う時には
悪よりお救いください。
いつまでも、そうなりますように。

Danza ダンス・ピアノのワルツ

Inno finale

Da ogni terra, o Regina, s'innalzi
Forte un inno che Madre ti chiami.
Ogni lingua, o Regina, t'acclami
Col piu` fervido accento del cor.
Regna ovunque, sui monti nevosi
Nelle valli, nei borghi e citta`
Te ricanti ogni fiore, e ogni stella
E Te acclami scrosciante ogni mar.
O Regina, distendi il tuo manto
Sovra noi che leviamo a Te il canto.
Chi in Te fida, abbia Te protrettrice
O Ausiliatrice!

< 訳詞 >

最後の歌

元后よ、世界中から上がるように
あなたを母と呼ぶ歌が。
元后よ、一声にあなたを称えるように
愛にあふれる心が。
君臨しなさい、白い山に
谷間と里と街に。
花や星があなたを歌うように、
とどろく海もあなたを称えるように。
元后よ、あなたのマントを広げてください
あなたを歌う私たちの上に。
あなたに頼るすべての人の保護者、
扶助者となってください。

2 - 6 アヴェ・マリア (op.191)

Ave Maria, gratia plena
Alba serena, Mater Iesu
Tu nos respice, sancta Maria
Oh, nostra mater pia, Virgo Maria

< 訳詞 >

めでたし恵みあふれるマリア
晴天の夜明け、イエズスの母
聖マリア、見守ってください
敬虔な私達の母、乙女マリア
(プログラム裏参照)

CD・ビデオのご案内

CD 各 1,500 円

『心が歌うチマッティ神父』

『チマッティ神父 その声 その心』

『マリア様を歌うチマッティ神父』

『チマッティ神父コンサートセレクション』

ビデオ 2,000 円

『音楽・自然・日本を愛したチマッティ神父』